

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

鹽野 めぐみ

20

第五幕 第3場


1522年3月24日

モンセラット・ベネディクト会修道院聖堂の告白場にて

登場人物： 巡礼者 イニゴ・デ・ロヨラ
聴罪司祭 ジャン・シャノン OSB 神父
物乞いの男

【語り】イニゴは、真剣な祈りのうちに3日かけて入念に糾明し、紙に書いて準備した生涯の罪を、謙遜に、包み隠さず告白した。

イニゴ：私が物心ついた時から今日までに犯しました罪を心から痛悔し、思い出す限りすべて告白いたしました。赦しをお願いいたします。

シャノン師：(諭の言葉を述べ、償いの祈りを命じた後、罪の赦しを与える) Ego te absolvo a peccatis tuis  in Nomine Patris et Filii et Spiritus Sancti, amen.

神はあなたのすべての罪を完全に赦してくださいました。安心していきなさい。巡礼の道中を神が守り、導いてくださいますように。

イニゴ：ありがとうございました。

【白衣の天使の合唱】

♪ ああイニゴ 神に感謝せよ ^{みそとせ}三十年のあまたの罪を
ことごとく 神赦し給う 生まれ変わって 往け新たなる道

イニゴ：バンザーイ！神に感謝。心が軽くなり、歌いだしたい気持ちだ。古い自分を脱ぎ捨て、新たなるキリストを着たのだから、そのしるしに衣替えをしよう。

【語り】イニゴは騎士の服や長靴を脱ぎ、先日あつらえた袋を作る布地から作った寛衣を纏う。

イニゴ: さあこの騎士の服とも別れを告げよう。誰かこの服をもらってくれる人はいないかな? 暗くなってきたからあそこにいる男にこっそり引き取ってもらおう。

(人目につかぬようにその男を片隅に手招きし)

この着物をもらってくれませんか?

物乞いの男: えっ? こんな立派な服貰っていいんですか?

イニゴ: ええ。もういらなくなつたんです。あなたに上げますから処分してください。

生活のなにかしかの足しになるでしょう。

物乞いの男: そりゃーもう、かなりの間食べていけます。でも、ただでもらっていいんですか、お侍様?

イニゴ: ただではありません。私のために祈ってください。もう侍ではありません。

これから巡礼の旅に出るんです。

物乞いの男: そうのことなら、ありがたくもらうべえ。あなた様のために一生懸命祈ります。神が巡礼の旅で、あなた様をいつもお守りくださいますように。

イニゴ: 有難う。あなたも元気でね。

【語り】それからイニゴは、大聖堂に戻り、モンセラットの聖母子像の前に大小の剣を架けさせてもらい、その前にひざまづいたり立ったりしながら夜を徹して祈り明かした。かつて「この世の騎士」に叙任された時にした儀式を思い出しながら、「キリストの騎士」になるときにも聖母の前で祈り、身を捧げたのである。時は 1522 年 3 月 25 日 (聖母のお告げの祝日; 主の奉献の祝日) の明け初める頃であった。